



FSSI
Research Report

Kanazawa University

2022. 1

Topic



本学の共同研究の傾向についてのご紹介

前回のレポート発刊後に、「共同研究のことを取り上げてほしい」とのご要望がありましたので、本号では金沢大学の共同研究関係のデータについてご紹介いたします。

共同研究先の法人種別の傾向

公表不可の事項が含まれる場合があるため、一部の情報のみですがご紹介いたします。

本学の直近数年間の共同研究先の法人種別を図1に示します。73%が株式会社、21%が大学関係機関（その他の設立登記法人）、3%が地方公共団体となっています。

都道府県別の傾向 その1・株式会社

共同研究先である株式会社の所在地（本社）の都道府県別の傾向を図2に示します。約5割が東京都、約1割が石川県と大阪府、次いで神奈川県、愛知県、兵庫県、富山県、京都府、埼玉県となっています。地元の石川県の企業が多く、本学は地域密着型とも言えます。また、大阪府や兵庫県、京都府といった関西地方の企業とも共同研究が盛んにおこなわれています。一方で、東北や中国、九州地方といった遠隔地との企業との共同研究があまり行われていない傾向にあります。

都道府県別の傾向 その2・地方公共団体

次に地方公共団体の所在地の都道府県別の傾向を図3に示します。約6割が石川県に所在地があり、その他は富山県、福井県、岐阜県、埼玉県、岡山県となっています。地元の地方公共団体の他にも、近隣の団体との共同研究が盛んに行われています。株式会社と比べて、地方色が強い傾向にあります。

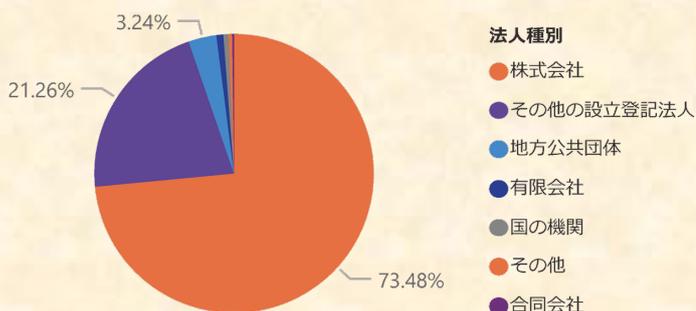
図2 株式会社の本社所在地（都道府県別）



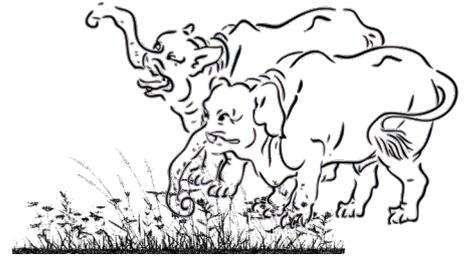
図3 地方公共団体の所在地（都道府県別）



図1 共同研究先の法人種別の割合



Topic

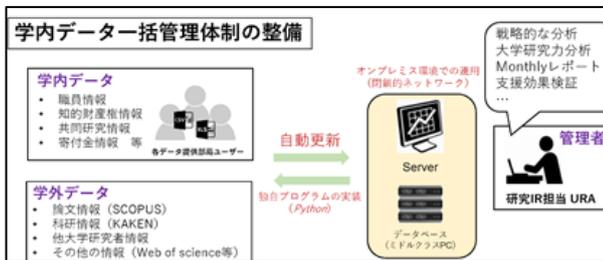


傾向について

本学では地元の企業や地方公共団体と盛んに共同研究が行われていますが、関西や東海地方にも活動を広げていける可能性があると考えられます。

共同研究関連の分析について

当機構では、共同研究関連データを含む学内のデータの整備を行っています。様々なデータを統合・分析することで、研究域ごとの共同研究や知財、寄付金の傾向や、研究者ごとの傾向等のこれまで見えていなかった本学の傾向が見えてきます。今後、レポートにてこれらの情報もできるだけ報告していく予定です。



研究者ネットワークの開催

共同研究を始めるためには、関係者間とのコミュニケーションは欠くことのできない要素です。FSSIでは研究者間のネットワークを密にすることを目的に「雑談のチカラ」を定期開催しています。今回は、佐無田光先生（人間社会研究域）、藤生慎先生（融合研究域）の両氏に「共同研究よもやま話」をしていただきました。

次回2月18日には、「若手研究者&学振特別研究員」との交流会を行いますので、ご興味ある方は是非ご参加ください。

RENCON (Research Networking & Communications)
<https://o-fsi.w3.kanazawa-u.ac.jp/close/rencom.html>

編集者コメント

科学研究費助成事業や外部研究事業等についての情報を分析し、研究者の皆様幅広く発信するために、「FSSI Research Report」を毎月発行しています。レポートに記載の分析結果詳細やアーカイブを[ホームページ](#)に掲載していますので、ぜひご覧ください。

ご紹介した「共同研究」について、FSSIでは様々な支援を行っていますので、困りごとがありましたら当機構まで是非ご相談ください（池田）。

リンク一覧

研究支援全般に関する情報

<https://o-fsi.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

分析結果やレポートのアーカイブ

<https://kanazawa-fssi.com/ir-analysis/>

【お問い合わせ】

金沢大学先端科学・社会共創推進機構（FSSI）

✉ : kanazawa-fssi-ir@kanazawa-fssi.com



1月21日に自然科学系図書館上の「YABU&CAFÉ丹」より撮影